

平成 25 年度 SC 全国ネットワーク 第 3 回常任幹事会 会議概要

日 時 平成 25 年 12 月 9 日 (月) 14:00~17:15
場 所 日本体育協会 1 階 特別室
出 席 者 桑田幹事長、伊端・関口両副幹事長、榎、大原、黒須、高橋、中村、鍋島、松田、
黒須の各常任幹事
オブザーバー 窪田 (スポーツ安全協会)
事 務 局 小林、小野寺、石黒、佐野(俊)、安部
(敬称略)
出席者数 合計 18 名

会議に先立ち桑田幹事長から挨拶。

報告事項

1. 平成 25 年度クラブマネジメント指導者海外研修について

団長としてドイツに派遣された桑田幹事長より、「実際に行ってみて、クラブの環境がうらやましく、素晴らしいと感じた。しかし、ドイツの形態を日本でそのまま創るのは難しいとも思えた。ドイツの良いところを日本のクラブへ取り入れたい。また、社会環境の変化に伴うクラブの諸問題を聞くことができた、日本でもドイツでも抱える問題は似ていると感じた。」との報告があった。

2. スポーツ少年団・総合型クラブ連携促進実務者会議について

事務局よりこれまで 4 回行われた会議の概要と、ガイドラインの作成を最終目的としている旨を報告。併せて具体的な取り組みとして、スポーツ少年団指導者全国研究大会で総合型クラブとの連携についての分科会を設置したこと、また、少年団、SC それぞれの役員による座談会を開催したことが報告された。

議 案

1. SC 全国ネットワーク総会の取り進めについて

事務局より総会の取り進めについて説明があり、グループワークをディスカッションに変更する案が出された。

常任幹事からは、総合型や SC は何を目指していくのかを示す機会としてほしい、来年の事業計画について、より多くの時間をとる必要があるのではないかと意見が出され、審議の結果、総会の取り進めについては異議なく承認された。

2. 総合型クラブ「キャッチコピー」コンテストの最終審査について

事務局より資料に基づき経過が報告され、常任幹事の審査により入賞作品が決定した。

今後の流れについては、下記のとおり入賞クラブを 3 月の総会で表彰後専門委員会にて報告することと、併せてキャッチコピーの PR を推進していくことが報告された。

～8月末	: 応募締切
～9月末	: 事務局による絞込み作業→20 作品程度を入選候補作品として選定
～10月末	: 全国のクラブによる投票（日体協 HP 上で実施）
12月	: 第3回常任幹事会にて最終審査、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定
平成26年3月	: SC 全国ネットワーク総会にて表彰式実施
同	: 地域スポーツクラブ育成専門委員会にて報告

3. SC 全国ネットワーク事業の検討について

事業・企画部会の報告を行い、今後目指すべき目標について議論を行った。

リーダークラブと人材育成、連絡協議会の位置づけ（組織）についての議論の後、今後は全国のクラブを牽引できる「核」を作るということを共通認識とし、形態や呼称、全体の枠組みについて検討すること、加えて SC としての方向性を検討していくこととなった。

3. その他

- ・九州ブロッククラブネットワークアクションの振り返りについて報告された。報告内容については、来年度の本事業と併せて今後検討することとなった。
- ・都道府県連絡協議会や SC 全国ネットワークへの加盟・登録について議論され、今後の取り組み、方向性についても検討された。

以上の内容を協議し、17時15分閉会。